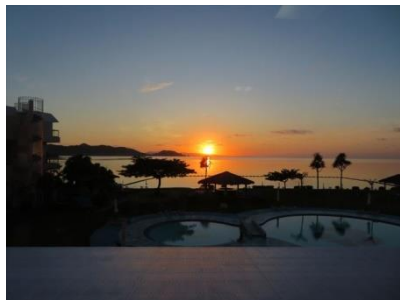


11月6日待ちに待った修学旅行に2年生が出発しました。石垣島に向けては2便に分かれての出発となるため、1・4・5組は神



戸空港に、2・3・6組は湊川神社に集合し、それぞれ参加予定者全員で遅れることなく出発できました。月曜日というのに空港はたくさんの旅行客であふれ、保安検査場はかなりの混雑でしたが、早めに動きだしたことで生徒たちの動きもよく、スムーズに機内に乗り込みまずは沖縄に向けて出発。離陸の瞬間には歓声が上がるなど修学旅行らしいスタートとなりました。那覇空港に到着するとクラス写真。青空の広がる素晴らしい景色の下、展望デッキで写真撮影。ここで石垣空港行に乗り換えるのですが、昼食を各自で取り、思い思いにお土産コーナーなどを見て回り、再度集合。ここで看護師さんも合流し、石垣空港へ出発しました。ここでは飛行機に乗り込むためにバスで移動となりました。バスから降りてタラップを上りようやく搭乗です。この時の気温は28度。とても気持ち良い天気ではありましたが、暑かったです。飛行機内では朝の集合が早かったせいか、私を含むほとんどの生徒職員がうとうとしていました。石垣空港に到着するとさらに気温は高く29度に。バスに乗り込むころには皆元気を取り戻し、宿舎に向けて出発。約50分ほどで到着。強い西日を浴びながら宿舎に到着すると各自で送っていた荷物をとって部屋に入りました。目の前に広がる海と景色の良さに部屋に荷物を置いてすぐにプライベートビーチへ出たものもあり、注意を受けていました。6時から夕食に合わせるように夕日が地平線に沈んで行きました。とても綺麗で南国の気分を味わえました。そしてビュッフェスタイルでの夕食。地元の料理もあり、生徒たちも「うまい」を連発しながら舌鼓を打ちました。そうこうしているうちに日が沈みあたりは真っ暗に。あまり細かなことを言わずとも生徒たちは時間どおりに動き、マナーも守られているように感じました。21時30分から室長会議では、

本日宿舎到着後に確認が必要となった点について説明がありました。屋外での行動範囲と時間、日程の変更点など室長はメモを取りながら聞いていました。明日以降も節度をもった行動をとってみんなが楽しめるようにして欲しいですね。移動で疲れた体をしっかりと休め、明日明後日の体験や見学、最終日の散策など最後まで元気に過ごしてよい思い出を作りましょう。室長会議の後は各部屋での点呼を受け就寝となりました。初日お疲れ様でした。

迎えた2日目の朝。日の出は兵庫県より1時間ほど遅いので起床時間は真っ



暗。3クラス目が朝食会場に来たころようやく明るくなってきました。待ち時間や朝食後にはプールサイドでくつろぐ生徒たちの姿が見えました。中でもブランコは大人気。今日は曇り空で風が強そうです。日焼けはましかもしれません。午前午後に分かれてマリンスポーツと島内観光を楽しみます。

私は1・4・5組と共に動きましたので、午前はマリンスポーツ、午後は島内観光となります。写真は主に私の同行したクラスになりますがお許しください。全体説明を受けた後、ウェットスーツを身にまとい、バナナボート、シュノーケリング、海辺で自由遊びの3交代でローテーションしました。午前中は日差しもなく風が強かったため、待ち時間は少し肌寒かったかもしれません。シュノーケリングは浅瀬が長く続くので、随分と沖合へ船でポイントまで行っていました。水中は濁りもなく綺麗だったとのことで、色とりどりの魚を見ることができたのではないのでしょうか。バナナボートはほぼ全員が口をそろえて「面白かった」と言うと思いました。水上バイクを巧みに操るインストラクターのおかげで、途中振り落とされる生徒も何人かありましたが、歓声を上げながらボートのロープにしがみついていたようです。最後戻ってきたときには、人数が少なくなっていると思ったら真ん中でどうしようもなく転ぶようになっていたようです。あっという間の3時間でした。そして昼食後にクラス写真を撮り、島内観光に出かけました。

島内観光は川平湾でグラスボートに乗るところから始まります。宿舎からはとても近く、5分余りで到着。早速船に乗り込みます。1隻20名前後で乗り込み、船の底をのぞきこぶようにして海中の魚を見ることがになります。風が強く、船が大きく揺れるのではないかと心配しましたが、船長の舵取りもよきほどではありませんでした。のぞき込む姿勢のため昼食後にはきつい生徒もいるのではないかと心配しましたが、それもなく、ウミガメの泳ぐ姿を見ることができた生徒もおり、貴重な体験だったようです。下船後は、近くを散策しながら景色を楽しみました。アイスクリームやサータアンダギーをほおぼる生徒もいてゆったりとした時間を過ごすことができたようです。

そして石垣やいま村に向かいました。ここは、ラムサール条約登録域となっている名蔵アンパルと呼ばれる植生があり、マングローブを見ることができます。またリスザル園ではすぐ近くまでリスザルが寄ってきます。さらに、



国・登録有形文化財に指定された昔ながらの建物が残されており、その時代を彷彿させる色合いと建物の造りに感動を覚えました。リスザルたちはあまりの人の多さに驚いた様子でしたが、間近で見ることができ、その可愛らしいしぐさに暫し見とれていました。戻ってくると夕食です。私の同行したクラスは昨日と同じブッフスタイル。内容は少し変わっていて今日も堪能することができました。2・3・6組はBBQ。食べ放題に舌鼓を打っていました。先生方もホッと一息。お疲れ様です。体調を崩す生徒もなく、元気で過ごせており、なによりです。この後打ち合わせをして、室長会議です。明日は、6つのコースに分かれて観光します。

※今回は観光、実習が終了するごとに日記風にかかせていただいています。多少読みづらいところもあるかと思いますがよろしくお願いします。

3日目は①西表島・由布島2島めぐり②竹富島レンタサイクル・石垣島カヌー体験③黒島ウミガメ研究所訪問④石垣島ホームビジット⑤竹富島レンタサイクル・石垣島観光⑥シュノーケル体験・石垣島観光の6つのコースに分かれての選択研修でした。私は①を選択しましたので35名の生徒と一緒に2島めぐりをしてきました。

その様子をお知らせします。石垣港から西表島行きの船に乗り、到着後仲間川遊覧船に乗り換え、仲間川を上流に進んでいきます。干潮時河口だけでなく途中の岸边にも大きな干潟が現れ、とても浅い川を進んでいきます。マングローブとは淡水と海水の入り混じったところで生息する植物の総称で、塩分を取り除く工夫やこの植物ならではの養分の取り方があるようです。渡り鳥である鷺も訪れていました。また、このマングローブではじみが取れるそうで、握りこぶし大の大きさにこれが「じみ」かと驚きました。途中の干潟では小さなカニがかなりの数現れるのを見ました。この土の浄化をしてくれているそうです。そして、仲間川の遊覧が終われば水牛車乗り場に向かいました。西表島から由布島に渡る際に水牛が人を乗せて引いてくれます。私の乗った水牛車は23歳の雄牛が15人の人を乗せて力強く引いてくれました。由布島からは、小浜島が遠くに見えるなど周りを海に囲まれとてもんびりとした時間を過ごすことができました。また水牛たちは休んでいる間は池で体を休めており気持ち良さそうにしていました。西表島に戻り、船で石垣港に戻ってくると、他の班とも出会い、今日あったことを確認し合っていました。生徒たちはここからしばらく歩いたユウグレナモールで最後の買い





物を楽しみ、バスで宿舎に戻りました。他の班の様子も先生方の写真で伝わってきましたが、どの班も充実した選択研修だったようです。宿舎での夕食は、昨日と入れ替わり1・4・5組がBBQです。煙が立ち込める中、何度もおかわりをして話に花を咲かせながら日が暮れたテラスで食事を楽しみました。明日はいよいよ最終日。少し疲れが見えた生徒もいたようですが、後一日楽しんで元気に神戸に帰りたいものです。朝の出発が早いため、また荷物の整理もしないといけ

ないのですが、生徒たちは最後の夜を歓声を上げながら楽しんでいました。明日発送の荷物作りはできたのでしょうか…。

4日目の朝。5時に起床し朝食を順にとり、荷物をトラックに積み込みます。時間差をつけたのでスムーズに行き、5分早く出発することができました。石垣空港では手荷物検査に時間がかかりましたが、何とか那覇行きの飛行機に乗ることができました。那覇では自由散策となります。私は完成間近に火災で焼失した首里城が気になっていたの、工事の様子を見に行くことにしました。ゆいレール(沖縄のモノレール)で切符を買って乗ろうとしたのですが、QRコードを読み取るシステムで最初は戸惑いました。首里駅から歩くこと20分弱、ようやくのことで守禮の門に到着。ここは消失せず現存していました。なかなかこちらの方まで足を延ばす生徒はいなかったのか、写真屋さんによると2組くらいとの事でした。幸運にもその一組と出会うことができ、記念撮影をすることができました。首里城の工事は一時資材が入ってこず大変だったようですが、ようやく進み始め、2026年秋には完成だそうです。その時には是非見に来たいと思っています。



少し早目に空港に戻ると修学旅行を終えて帰りの便を待つ高校生がひっきりなしに集合していました。本校も早い便は16時に集合してはいよいよ神戸に向けて出発します。最後の集合では、解団式を行い、4日間お世話



になった看護師さん、旅行会社の方々に拍手でお礼。私からはバスの運転手さんの石垣島が修学旅行を受け入れた27年前の話を披露しつつ、最後まで無事に安全に帰宅するまで気を抜かないよう、そして13日に学校に出てきて修学旅行は完了ですという話をしました。先生方をはじめ多くの方々の協力で、大きな事故や体調不良者もなく、楽しめた修学旅行の思い出を胸に今後の学校生活を頑張りたいと思いました。

2便に別れて関西国際空港に到着し、バスに乗り換え、全員がほぼ予定の時刻に湊川神社まで帰ってきました。バスの中で連絡を受け、流れ解散。10日の代休を挟み、土日で気持ちを切り替え13日にいい顔で集合してほしいです。学年団の先生方、本当にありがとうございました。また、学校で修学旅行団をフォローしていただきました先生方ありがとうございました。

少し読みにくい「校長室から NO.34」ですが、旅行の雰囲気をもっと感じていただければと思います。お疲れ様でした。